



# 週間情報



No.0639

発行日 令和6年10月1日

発行所 全国消防長会

一般財団法人全国消防協会

担当 企画部企画課 03-4500-6622

## 消防本部の動き

### 行事

#### ◆ 消防バッテリーカーの寄贈に伴い感謝状を贈呈

#### 宝塚市消防本部（兵庫）

宝塚市消防本部では、令和6年9月13日（金）、有限会社兵庫トラベル代表の大西茂樹氏から消防バッテリーカーを寄贈いただき、宝塚市長から感謝状を贈呈しました。

これは、「子どもたちが消防署へ来て、消防バッテリーカーに乗って遊び、消防職員や消防署の空気に触れ、将来は宝塚市民を守る消防職員になってもらいたい。」との思いから寄贈いただいたものです。

今後は、この寄贈品を各種消防イベントで活用し、市民の安全・安心のまちづくりに貢献できるよう努めてまいります。



【感謝状贈呈後の記念撮影】



【寄贈式後の記念撮影】

## 訓 練

### ◆ 解体予定の建物を活用した警防技術発表会を実施

#### 豊橋市消防本部（愛知）

豊橋市消防本部では、令和6年9月6日（金）、シンフォニアテクノロジー株式会社にご協力いただき、解体予定の建物を活用した警防技術発表会を実施しました。

この発表会は、各小隊が的確な連携活動により、指揮・消火・救助・排煙・水損防止など一連の消防活動を円滑にすることを目的として実施したものです。

当日は、解体予定の建物を提供していただいた会社に対して感謝状を贈呈した後、ブラインド型の総合訓練を行いました。

実際の建物を活用した訓練を行うことで、職員にとって貴重な経験となったほか、各小隊の災害対応能力の向上を図ることができました。



【感謝状贈呈の様子】



【訓練の様子】

### ◆ 解体予定の建物を活用した訓練を実施

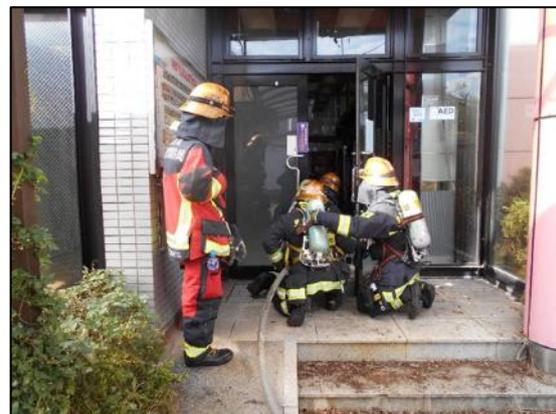
#### 鳥取県東部広域行政管理組合消防局（鳥取）

鳥取県東部広域行政管理組合消防局では、令和6年9月2日（月）から6日（金）までの5日間、鳥取県解体工事業協同組合にご協力いただき、解体予定の建物を活用した訓練を実施しました。

この訓練は、「より実践的な訓練を実施したい。」との職員の意見により、同組合から解体予定の建物を提供していただき実現に至ったものです。

当日は、建物の居室を使用し、建物の破壊訓練や屋内への放水訓練などを行い、消防庁舎では実施できない有意義な訓練となりました。

今後も、さまざまな建物で訓練を継続し、消防力の向上に努めてまいります。



【訓練の様子】

## ◆ 愛媛県ドクターヘリと合同で連携訓練を実施

### 松山市消防局（愛媛）

松山市消防局では、令和6年9月7日（土）、当市の日浦小学校において、愛媛県ドクターヘリと合同で連携訓練を実施しました。

この訓練は、遠隔地の山間部において交通事故が発生した場合、傷病者を迅速にドクターヘリに引継ぎ救命率の向上につなげることを目的として実施したものです。

当日は、救急隊の活動、フライトドクターとの情報共有、消防隊による散水活動などを効果的に実施し、有意義な訓練となりました。

今後も、計画的に訓練を継続し、愛媛県ドクターヘリとの連携強化に努めてまいります。



【訓練の様子】

## ◆ 解体予定の建物を活用した訓練を実施

### 草加八潮消防局（埼玉）

草加八潮消防局では、令和6年9月4日（水）から10日（火）までの期間中、管内にある解体予定の建物を活用した訓練を実施しました。

この訓練は、より実践的な災害を想定した訓練を行うことで、職員一人一人の技術の向上を目的として実施したものです。

期間中は、煙を充満させた屋内において、進入訓練と要救助者の救出訓練を行ったほか、屋根破壊時における自己確保設定要領を確認しました。

今後も、実践的な訓練や検証を継続し、効果的な消防活動につなげていけるよう努めてまいります。



【訓練の様子】

### ◆ 3 消防本部で重機合同訓練を実施

#### 盛岡地区広域消防組合消防本部（岩手）

盛岡地区広域消防組合消防本部では、令和6年9月12日（木）、13日（金）の2日間、岩手県消防学校において、弘前地区消防事務組合消防本部（青森）、大館市消防本部（秋田）と重機合同訓練を実施しました。

この訓練は、当消防本部重機オペレーターの操作技術の向上と大規模災害発生時の活動における連携強化を目的として、令和2年度から実施しているものです。

当日は、オペレーターの操作技術を共有したほか、重機の特長や訓練課題の考え方についての意見交換を実施しました。

また、事象事例の情報交換などを行い、災害対応力の強化と緊密な関係の構築を図ることができました。

今後も合同訓練を継続し、3消防本部間で顔の見える関係を構築し、大規模災害に備えてまいります。



【訓練前の記念撮影】



【訓練の様子】

### ◆ 解体予定の建物を活用した救助現場対応訓練を実施

#### 熊谷市消防本部（埼玉）

熊谷市消防本部では、令和6年9月10日（火）から13日（金）までの期間中、太平洋セメント熊谷工場にご協力いただき、解体予定の建物を活用した救助現場対応訓練を実施しました。

この訓練は、救助隊2隊が合同で訓練を行い、救助技術の習得と連携強化を図ることを目的として実施したものです。

期間中は、多様な災害を想定して、ブリーチング訓練、ドア開放訓練、高所からの救出訓練などを実災害に近い環境下で実施し、隊員一人一人の主体性が養われ、実践的かつ効果の高い訓練となりました。

今後も訓練を継続し、多様化する災害に対応するため、活動技術の向上に努めてまいります。



【訓練の様子】

## ◆ 茨城県防災航空隊と合同訓練を実施

### 常陸太田市消防本部（茨城）

常陸太田市消防本部では、令和6年9月12日（木）、13日（金）の2日間、茨城県防災航空隊と合同訓練を実施しました。

この訓練は、これから火災期を迎えるに当たり、防災ヘリコプターを有効活用することを目的として実施したものです。

当日は、林野火災を想定した消火訓練、隊員投入訓練、焼損状況調査訓練を実施したほか、当消防本部の職員と同航空隊の隊員が、消火バケツへの給水要領や、隊員投入時の注意点などを確認し、実災害に備えた効果の高い訓練となりました。

今後も、関係機関との連携強化を図るとともに、災害対応能力の向上に努めてまいります。



【訓練の様子】



【訓練講評の様子】

## 研 修

### ◆ 救急隊員研修会を開催

### 行田市消防本部（埼玉）

行田市消防本部では、令和6年9月9日（月）、救急医療週間の一環として、救急隊員研修会を開催しました。

当日は、地方独立行政法人埼玉県立病院機構埼玉県立精神医療センターの清水俊宏医師を講師としてお招きし、精神疾患の分類から精神科入院に関する基礎知識、県内の精神科救急システム構造、搬送時の対応についてご講義いただきました。

また、現場対応力の向上を目的として、傷病者と救急隊員の会話についてグループワークを実施し、職員の活発な意見に対して、分かり易く解説していただき、活動時の注意点を学ぶことができました。

今後も、研修会で学んだことを踏まえ、傷病者の気持ちに寄り添える救急隊員の知識と技術の向上に努めてまいります。



【研修会の様子】



【グループワークの様子】

## ◆ 救急救命技術研修会を開催

### 須坂市消防本部（長野）

須坂市消防本部では、令和6年9月9日（月）、10日（火）の2日間、救急救命士の生涯教育（再教育）の一環として、救急救命技術研修会を開催しました。

この研修会は、救急活動を評価し、活動の標準化を図ることを目的として開催したものです。

当日は、医師（地域MC専門部会委員）を講師としてお招きし、講師と指導救命士の指導のもと、心肺機能停止前後の傷病者を想定した救急活動訓練を行いました。

今後も訓練を継続し、いかなる状況にも対応できるよう、個人スキルの向上とポンプ隊などとの連携強化を図り、救命率の向上に努めてまいります。



【研修会の様子】

## ◆ 警察機関と合同で火災調査研修会を実施

### 知多市消防本部（愛知）

知多市消防本部では、令和6年9月10日（火）、愛知県警察本部知多警察署と合同で火災調査研修会を実施しました。

この研修会は、火災現場において同警察署が行う捜査と、当消防本部が行う火災原因調査について、お互いの立場から情報交換を行うとともに、現場活動時の連携強化を図ることを目的として実施したものです。

当日は、同警察署の職員が火災現場における捜査についてご講義いただいたほか、当消防本部の職員が、たばこの燃焼実験、配線から出火に至る半断線の出火実験を通じて、実況見分の進め方などについて指導し、双方が熱心に取り組み大変有意義な研修会となりました。

今後も、同警察署との連携強化を図るとともに、火災現場のみならず、災害や事故現場などでの協力体制を強化し、市民の安全・安心の確保に努めてまいります。



【研修会の様子】

## ◆ 「ゲートキーパー養成研修会」を実施

### 渋川広域消防本部（群馬）

渋川広域消防本部では、令和6年9月12日（木）、13日（金）の2日間、自殺予防に伴う「ゲートキーパー養成研修会」を実施しました。

当日は、渋川保健福祉事務所保健係の職員を講師としてお招きし、救急現場における自殺企図者に対する接し方、身近な方の変化に気づくポイント、声かけ（聴く）要領、必要に応じて専門家に相談する方法などについてご講義いただきました。

また、ゲートキーパーとしての対応をロールプレイング型で行い、慣れない相談などで困惑する職員も見られましたが、さまざまなことを学ぶ研修会となりました。

今後も研修を継続し、円滑な救急活動と誰もが安心できる職場環境を目指してまいります。



【研修会の様子】

## ◆ パワーハラスメント研修を実施

### 岩国地区消防組合消防本部（山口）

岩国地区消防組合消防本部では、令和6年9月13日（金）、14日（土）の2日間、当消防本部の全職員を対象にパワーハラスメント研修を実施しました。

この研修は、ハラスメントのない職場づくりを目指し、職員のハラスメントに関する意識の啓発と知識の向上を図ることを目的として実施したものです。

当日は、全国消防長会の顧問弁護士である増田直毅氏を講師としてお招きし、実際に発生したパワハラに関する判例の解説、消防でパワハラが起きる背景や予防対策などについて、多岐にわたり大変貴重なご講義をいただきました。

今後も、定期的に研修を実施し、ハラスメントのない風通しの良い職場環境を目指してまいります。



【研修の様子】

## その他

### ◆ 消防協力者に感謝状と記念品を贈呈

#### 西条市消防本部（愛媛）

西条市消防本部では、令和6年9月13日（金）、消防協力者の2人に対して、消防長から感謝状と記念品を贈呈しました。

本事案は、同年6月11日（火）、当市で発生した建物火災において、逃げ遅れた1人暮らしの女性を、消防協力者の2人が協力し、火勢の届かない安全な場所に救出したものです。

消防協力者2人の勇敢な行動により、尊い命が救われました。



【感謝状贈呈式の様子】



【感謝状贈呈後の記念撮影】

### ◆ 普及啓発ポスターの最優秀受賞者に表彰状を贈呈

#### 埼玉東部消防組合消防局（埼玉）

埼玉東部消防組合消防局では、令和6年9月18日（水）、住宅用火災警報器の普及啓発ポスターの最優秀受賞者に対して、消防局長から表彰状を贈呈しました。

このポスターは、同警報器の設置（交換）に関する住民の意識高揚を図ることを目的として、管内にある白岡高等学校にご協力いただき、制作したものです。

なお、最優秀作品は同校の校長と美術部顧問の先生に選定していただき、最優秀に選ばれた原画を当消防局にてA2版ポスターにして、管内（加須市・久喜市・幸手市・白岡市・宮代町・杉戸町）の公共施設や事業所など、1,500か所に配布し、掲示していただきます。



【最優秀作品】



【表彰状贈呈後の記念撮影】

## ◆ 防火管理に関するスキルアップ講習会を実施

東京消防庁（東京）

東京消防庁世田谷消防署では、令和6年9月5日（木）、三軒茶屋エコー仲見世商店街において、防火管理に関するスキルアップ講習会を実施しました。

当日は、同商店街の防火管理者が参加し、実際に同商店街に設置されているパッケージ型消火設備の取り扱い要領を説明したほか、タブレット端末で類似した商店街の火災動画を視聴していただき、防火意識の高揚を図り事業所の特性に応じた講習会となるよう工夫しました。

参加者から、「火災時に自分たちが実際に使用する設備の取り扱い方法を学べて、お客さんとお店を守る自信ができました。」との力強いお言葉をいただきました。

今後も、地域の安全に貢献できる防火管理指導に努めてまいります。



【講習会の様子】

## ◆ 「救急フェア」を開催

石巻地区広域行政事務組合消防本部（宮城）

石巻地区広域行政事務組合消防本部では、令和6年9月7日（土）、石巻東消防署において、「救急の日」を迎えるに当たり、管内の保育施設に入所している園児と保護者を対象に「救急フェア」を開催しました。

このイベントは、救急に対する正しい理解と認識を深めていただき、幅広く応急手当と救急車の適正利用について普及啓発を図るとともに、幼少期から「命を大事にする心」を育むことを目的として開催したものです。

当日は、約150人が来場し、救命処置コーナー、救急講話コーナー、緊急車両乗車体験コーナー、写真撮影コーナーなどを設け、子どもたちが楽しみながらも真剣に学ぶ姿を見ることができました。

今後も、イベントを継続し、多くの方と触れ合いながら、救急に対する正しい理解と認識を深めていただけるよう広報してまいります。



【救命処置コーナーの様子】



【緊急車両乗車体験コーナーの様子】

## ◆ 救急医療週間に伴う広報活動を実施

### 美作市消防本部（岡山）

美作市消防本部では、令和6年9月8日（日）、当市のスーパーマーケットにご協力いただき、救急医療週間に伴う広報活動を実施しました。

これは、救急業務と救急医療に対する市民の正しい理解と認識を深めていただくことを目的として実施したものです。

当日は、店舗内において救急体験コーナーを設け、来客者に対して訓練人形を使用した心肺蘇生法の指導を行ったほか、敷地内において救急医療をより身近に感じていただくため、救急車展示コーナーを設け、救急意識の向上に努めた広報活動を実施しました。

また、地元メディアの取材で広報活動の様子を撮影していただき、救急車の適正利用を呼びかけるなど精力的な広報活動を行いました。

会場では、救急業務に関心のある市民も多く、救急体験コーナーにおいて積極的に心肺蘇生法に取り組んでいただいたほか、救急隊の体験話などを真剣に聞いていただきました。



【救急体験コーナーの様子】



【救急車展示コーナーの様子】

## ◆ 「救急フェア2024」を開催

### うるま市消防本部（沖縄）

うるま市消防本部では、令和6年9月8日（日）、イオン具志川店とサンエー石川シティにおいて「救急フェア2024」を開催しました。

このイベントは、来場者に救急車の適正利用や救急業務への理解を深めていただくことを目的として開催したものです。

当日は、救急車、消防車、ドクターカーなどの車両展示と、市民の健康相談コーナー、応急手当体験コーナーを設けました。

イオン具志川店では、うるま市出身のタレントである與那嶺望氏を一日救急隊長として委嘱し、救急車の適正利用に関する啓発活動と、同年9月1日からスタートした「おきなわ＃7119」を広報していただいたほか、応急手当の実演を披露していただきました。

また、消防協力者に対する感謝状の贈呈式と、市内観光施設「ビオスの丘」のゆいまーる救急ステーション認定式を行いました。



【応急手当体験コーナーの様子】



【一日救急隊長辞令交付式・感謝状贈呈式後の記念撮影】

## ◆ 観光防災に関する研修会を実施

### 日光市消防本部（栃木）

日光市消防本部では、令和6年9月11日（水）、「令和6年度防火管理者研修会」の一環として、観光関連産業に従事する防火管理者などを対象とした、観光防災に関する研修会を実施しました。

当日は、第1部では「観光防災について」と題して、観光危機管理の重要性を説明し、第2部では近畿大学国際学部准教授の萬谷先生を講師としてお招きし、「防災の英語」と題して、災害時に役立つ英語スキルについてご講義いただきました。

この研修会を通じて、観光防災に関する理解を深めていただくとともに、国際観光文化都市として観光防災の充実強化の重要性について再確認していただきました。



【研修会の様子】

## ◆ 消防大学校予防科に入校した職員による報告会を実施

### 取手市消防本部（茨城）

取手市消防本部では、令和6年9月10日（火）、11日（水）の2日間、消防大学校予防科に入校した職員による報告会を実施しました。

当日は、同予防科において実施した内容のほか、「最近の予防行政について」、「立入検査と違反処理」、「火災発生に伴う証人出廷について」、「予防広報について」をテーマとして、大規模火災を契機とした法令改正の内容や、予防科に入校した全国各地の消防本部の予防業務での取り組みなどについて報告しました。

参加した職員から、「予防業務の取り組みなど全国各地の消防本部の先進事例が聞けて良かった。」、「予防行政の重要性を痛感した。」などの意見を聞くことができました。

今後も、各種研修に参加した職員による報告会を継続し、職員の知識や適応力の向上に努めてまいります。



【報告会の様子】

## ◆ 第11回一次救命処置技術指導会を実施

### 羽咋郡市広域圏事務組合消防本部（石川）

羽咋郡市広域圏事務組合消防本部では、令和6年9月12日（木）、志賀町地域交流センターにおいて、救急医療週間の一環として、管内の事業所などを対象に第11回一次救命処置技術指導会を実施しました。

これは、心肺蘇生法とAEDの使用に係る知識、技術の向上を図ることを目的として実施したもので、今回で11回目を迎えました。

当日は、8チームが出場し、救命処置の正確性や迅速性などを披露しました。

今後も、救急普及啓発に努め、救命率の向上を目指してまいります。



【指導会の様子】



【表彰式後の記念撮影】

## ◆ 令和6年度久米島町消防本部職員意見発表会を開催

### 久米島町消防本部（沖縄）

久米島町消防本部では、令和6年9月13日（金）、令和6年度久米島町消防本部職員意見発表会を開催しました。

当日は、署内から選ばれた4人の職員が、職務を通じての体験、業務に関する提言、取り組むべき課題について自由に発表しました。

最優秀受賞者は、同年11月7日（木）に開催される、「第45回沖縄県消防職員意見発表会」に南部地区代表として出場します。



【発表の様子】



【表彰式後の記念撮影】

## ◆ 「消防・救急フェア」を開催

### 三沢市消防本部（青森）

三沢市消防本部では、令和6年9月14日（土）、青森県立三沢航空科学館において、「消防・救急フェア」を開催しました。

当日は、消防車両展示コーナー、はしご車搭乗体験コーナー、地震体験コーナー、応急手当体験コーナーなどを設けたほか、ドクターヘリとの合同訓練や米軍消防・自衛隊消防・当消防本部による一斉放水を実施しました。

消防車両展示コーナーでは、親子で防火服を着装した状態で記念撮影を行い、子どもたちの笑顔を見ることができたほか、初めて参加したドクターカー（移動手術室）に多くの方が興味を持って見学している姿を見ることができました。

来場者から、「普段は見られない消防車両を見ることができて楽しかった。」「親子で色々な体験ができた。」などの声が聞かれ、消防業務への理解を深めてもらう良い機会となりました。



【ドクターカー展示の様子】



【一斉放水の様子】

## ◆ 住宅用火災警報器啓発イベントを実施

### 仙台市消防局（宮城）

仙台市消防局では、令和6年9月14日（土）、当市の大型家電量販店において、住宅用火災警報器啓発イベントを実施しました。

当日は、「大切な人に安心を届けよう」をテーマに、煙の怖さの紹介、消防士防火服着装披露、消防士とじゃんけん大会を行ったほか、スタンプラリーなどのコーナーを設け、多くの来場者で賑わいました。

煙の怖さの紹介では、来場者から「こんなに煙の速度が速いのか。」「煙って本当に怖いね。」との感想を聞くことができました。

今後も、住宅用火災警報器の条例適合率の向上と適切な維持管理について広報してまいります。



【イベントの様子】

## ◆ 「蝶野正洋イオン防災・防犯OPEN CAMPUS」を開催

浜松市消防局（静岡）

浜松市消防局では、令和6年9月15日（日）、イオンモール浜松市野において、「蝶野正洋イオン防災・防犯OPEN CAMPUS」を開催しました。

当日は、屋外において消防車両展示を行うとともに、店内において消防団入団促進、火災予防、救急、119番通報に関する広報を行いました。

人気プロレスラー蝶野氏と当消防局の職員がトークショーを行い、蝶野氏が救急現場に遭遇したこと、東日本大震災の際にボランティアとして被災地を訪れたことなど、自身の経験を交えたお話をいただきました。

また、トークショーの後半では、蝶野氏と来場者の方を交えて心肺蘇生法を実演し、盛り上がるイベントとなりました。

今後も、迅速・的確に対応する消防、救急体制づくりに努めてまいります。



【トークショーの様子】



【消防車両展示の様子】

## ◆ 防火ポスターと熱中症予防ポスターの展示会を開催

磐田市消防本部（静岡）

磐田市消防本部では、令和6年9月11日（水）から15日（日）までの期間中、磐田市立中央図書館において、防火ポスターと熱中症予防ポスターの展示会を開催しました。

期間中は、市内の小学生や幼年消防クラブ員が作成した防火ポスター356枚と、市内の中学校美術部の生徒が作成した熱中症予防ポスター69枚を展示しました。

今後も、火災予防意識の向上や熱中症への注意喚起につながる活動を行ってまいります。



【イメージキャラクターとの記念撮影】



【展示会の様子】

## 国等の動き

### 消防庁通知等

#### ◆ 移動タンク貯蔵所等に対する立入検査の実施について

(消防危第277号、令和6年9月20日)

消防庁危険物保安室長から各都道府県消防防災主管部長、東京消防庁・各政令市消防長あてに通知が発出されましたので、お知らせします。

危険物の移送又は車両による危険物の運搬中における災害は、一度発生すれば、国民の生命、身体及び財産に重大な危害を及ぼすおそれがあるほか、交通遮断による経済活動の停滞等、社会生活に多大な影響を及ぼすこととなります。

つきましては、移動タンク貯蔵所等による事故の未然防止と危険物取扱者の遵法意識の高揚を図るため、下記の要領で立入検査を実施し、より一層の安全確保の徹底を図るようお願いします。  
—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

(<https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/2fc9096b0e0437181158c6c124ec311ecaf5006f.pdf>)に掲載されています。

消防庁危険物保安室

担当：馬場、長嶺

TEL：03-5253-7524（直通）

E-mail：[fdma.hoanshitsu@soumu.go.jp](mailto:fdma.hoanshitsu@soumu.go.jp)

#### ◆ 危険物規制事務に関する執務資料の送付について

(消防危第279号、令和6年9月24日)

消防庁危険物保安室長から各都道府県消防防災主管部長、東京消防庁・各指定都市消防長あてに通知が発出されましたので、お知らせします。

危険物規制事務に関する執務資料を別紙のとおり送付しますので、執務上の参考としてください。(別紙省略)

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

([https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/240924\\_kiho\\_279.pdf](https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/240924_kiho_279.pdf))に掲載されています。

(問い合わせ先)

消防庁危険物保安室

担当：三宅、小澤

TEL：03-5253-7524

E-mail：[fdma.hoanshitsu@soumu.go.jp](mailto:fdma.hoanshitsu@soumu.go.jp)

## 報道発表

### ◆ 令和6年8月の熱中症による救急搬送状況

(令和6年9月18日、消防庁)

熱中症による救急搬送人員について、令和6年8月の確定値を取りまとめましたので、その概要を公表します。

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

(<https://www.fdma.go.jp/pressrelease/houdou/items/kyuuki-0918.pdf>) に掲載されています。

【連絡先】 消防庁 救急企画室 救急連携係  
担 当：竹田課長補佐、門口係長、坂上事務官  
T E L：03-5253-7529

E-mail：[kyukyukikaku-kyukyurenkei\\_atmark\\_soumu.go.jp](mailto:kyukyukikaku-kyukyurenkei_atmark_soumu.go.jp)

※スパムメール対策のため、「@」を「\_atmark\_」と表示しております。  
送信の際には、「@」に変更してください。

### ◆ 令和6年度消防防災科学技術賞受賞作品の決定

(令和6年9月18日、消防庁)

この度、令和6年度「消防防災科学技術賞」の受賞作品を決定しました。

本表彰制度は、消防防災機器等の開発・改良、消防防災科学に関する論文及び原因調査に関する事例報告の分野において、優れた業績をあげた等の個人又は団体を消防庁長官が表彰することにより、消防防災科学技術の高度化と消防防災活動の活性化に資することを目的として、平成9年度から実施しています。

令和6年度においては、全国の消防機関、大学、消防機器メーカー等から総計68作品（消防防災機器等の開発・改良32作品、消防防災科学論文23作品、原因調査事例13作品）の応募があり、選考委員会（委員長山田實元横浜国立大学リスク共生社会創造センター客員教授）による厳正な審査の結果、別添1の30作品を受賞作品として決定しました。

表彰式は、下記の日時・会場にて執り行う予定です。

また、表彰式終了後、受賞者による作品発表が第72回全国消防技術者会議（消防研究センター主催、同日及び翌日開催予定）において行われます。

同会議の詳細については、消防研究センターホームページ (<https://nrifd.fdma.go.jp/>) にてお知らせいたします。（別添省略）

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

([https://www.fdma.go.jp/pressrelease/houdou/items/240918\\_syouken\\_1.pdf](https://www.fdma.go.jp/pressrelease/houdou/items/240918_syouken_1.pdf)) に掲載されています。

連絡先  
消防庁消防研究センター研究企画部  
担当：伊藤、木戸  
電話：0422-44-8331

## 情報提供

### ◆ 違反是正講演等動画配信事業（オンデマンド配信）

主催：一般財団法人日本消防設備安全センター

後援：全国消防長会

一般財団法人日本消防設備安全センター（以下「安全センター」という。）では、平成14年度より全国の消防職員が推進する違反是正業務を側面から支援する機関として違反是正支援センターを設置し、違反是正推進に係る研修会などの開催や資料の作成などの事業を行っております。

違反是正支援事業の一環として、総務省消防庁、各消防本部などのご協力を得て、違反是正講演などの動画を配信する事業（以下「配信事業」という。）を実施しています。

多くの消防職員の方にご聴講いただき、違反是正推進の参考としていただければ幸いです。

	講演内容	講演者
基調講演	1 「予防行政の動向」	総務省消防庁予防課
	2 「違反処理体制の構築と展開」	岡山市消防局
	3 「2時間30分で約200テナント実施する 繁華街の夜間無通告査察」	横浜市消防局
	4 「違反是正体制の強化 ～持続可能な組織づくり～」	新潟市消防局

#### 令和5年度消防法令違反是正事例発表会 事例発表動画（順不同）

夕張市消防本部、気仙沼・本吉地域広域行政事務組合消防本部、志太広域事務組合志太消防本部、豊田市消防本部、福井市消防局、枚方寝屋川消防組合消防本部、仲多度南部消防組合消防本部、沖永良部与論地区広域事務組合消防本部

※ 配信期間中は、令和4年度違反是正事例発表動画（令和5年度配信事業）もご聴講いただけます。

配信期間	令和6年10月7日(月)から令和7年6月30日(月)まで
募集対象	消防職員 ※消防職員以外の方は聴講できません。
配信場所	安全センターホームページ内特設サイト
視聴方法	PC・タブレット・スマートフォンなどのインターネット端末
参加費	無料 ※通信料は、ご自身の負担となります。



#### 【聴講方法】

- ・聴講を希望される方は、安全センターホームページから登録をしてください。
- ・聴講希望登録は、令和6年9月26日(木)10時00分から令和7年6月22日(日)まで申込み可能です。
- ・配信および聴講要領については、登録者に対し個別にメールにて送付いたします。
- ・登録者については、配信期間中いつでも聴講可能です。

## ◆ 第33回全国救急隊員シンポジウムを開催

秋田市消防本部  
一般財団法人救急振興財団

秋田市消防本部、一般財団法人救急振興財団では、令和6年11月21日（木）、22日（金）の2日間、秋田県秋田市において、下記のとおり第33回全国救急隊員シンポジウムを開催いたします。

### 記

#### 1 開催日時

令和6年11月21日（木） 9時30分～17時40分  
（開場・8時30分～／受付・8時45分）

令和6年11月22日（金） 9時00分～13時00分  
（開場・受付8時30分～）

#### 2 現地開催会場

あきた芸術劇場ミルハス（秋田県秋田市千秋明徳町2-52）  
にぎわい交流館AU（あう）（秋田県秋田市中通一丁目4-1）  
秋田市文化創造館（秋田県秋田市千秋明徳町3-16）

#### 3 開催方式

現地会場にて全てのプログラムを開催し、一部のプログラムに限り併せてリアルタイムWEB配信を予定。

#### 4 メインテーマ

【「敢為邁往(かんいまいおう)」 理想を現実に変える旅のはじまり ～美の国・秋田から～】

#### 5 プログラム

##### 【11月21日（木）】

- (1) 特別講演「敢為邁往」～美の国・秋田から～
- (2) 教育講演1「JRCガイドライン2025を可視化」～どうなるガイドライン～
- (3) 教育講演2「災害における病院前救護」～災害を振り返り対応力を強化する～
- (4) 教育講演3「処置拡大のあゆみと展望」～新時代をここ秋田から～
- (5) 教育講演4「救急隊員とトラウマ」～ケアの視点を交えて～
- (6) 教育講演5「観察力の向上」～救急脳を進化させる～
- (7) シンポジウム1「大規模災害」～学び備える～
- (8) シンポジウム2「DNARの対応」～各地域の取り組み～
- (9) シンポジウム3「指導救命士のあり方」～指導救命士10年の節目～
- (10) シンポジウム4「通信指令員教育」～各地の取り組みを秋田から～
- (11) パネルディスカッション1「AED大国日本20年の月日を経て」  
～現在の課題とこれからの展望～
- (12) パネルディスカッション2「こどもセーフティプロジェクト」～小さな命を守り抜く～
- (13) パネルディスカッション3「救急需要対策」～救急出動件数増加に備える～
- (14) パネルディスカッション4「脳卒中を見抜く」～広がれ！秋田から全国へ～
- (15) スキルトレーニング1「病院前12誘導心電図判読トレーニング」  
～病院前における胸痛傷病者のマネジメント～
- (16) スキルトレーニング2「ハイパフォーマンスCPR ベーシックコース」  
～CPRの質と社会復帰率をもう一步前へ～
- (17) 市民公開講座1「あそんでまなぼう！こども応急手当教室・第1部」
- (18) 一般発表1～12

##### 【11月22日（金）】

- (1) 教育講演6「研究成果の社会実装」～最先端の救急活動へ 旅のはじまり～
- (2) シンポジウム5「理想とする人材活用」～救急活動とライフステージ～

- (3) パネルディスカッション5 「早期アドレナリン投与への取り組みとその効果」  
～救急活動の理想に向かって～
- (4) スキルトレーニング3 「救急現場 ロールプレイング」～持てる知識を実践力に～
- (5) スキルトレーニング4 「POT (Basic) 心肺停止前傷病者に対するシミュレーション・トレーニング」～心肺停止前疾病傷病者への的確な対応を目指して～
- (6) 市民公開講座2 「あそんでまなぼう！こども応急手当教室・第2部」
- (7) 総合討論「敢為邁往」～理想を現実に変える旅のはじまり～
- (8) 一般発表13～20

6 その他

- (1) 参加に係る費用（参加費、資料代など）は徴収いたしません。
- (2) 参加につきましては、完全事前登録制といたします。第33回全国救急隊員シンポジウムホームページからご登録ください。
- (3) プログラムの内容は、今後、追加・変更などが生じることが考えられますが、第33回全国救急隊員シンポジウム専用ホームページにてシンポジウムに関する最新の情報を掲載し、随時更新しておりますので、是非ご覧ください。

(<https://33akita99sympo.com/>)



←こちらの二次元コードからもアクセスいただけます。

【お問合せ先】	
秋田市消防本部 救急課 〒010-0951 秋田県秋田市山王1丁目1番1号 TEL: 018-823-4019 FAX: 018-823-9006	一般財団法人救急振興財団 事務局総務部企画調査課 〒192-0364 東京都八王子市南大沢4丁目6番地 TEL: 042-675-9931 FAX: 042-675-9050

## ◆ 令和6年度危険物事故防止対策論文募集について

### 消防庁・危険物保安技術協会

危険物を取り扱う事業所や消防関係行政機関などで取り組まれている事故防止や安全対策の活動などについて論文を募集します。普段行っている身近な行動に関するものなど、幅広く受け付けますので、皆さまの積極的なご応募をお待ちしております。

#### 1 論文の内容

危険物に係る事故防止や安全対策に関するもので、次のようなもの

- ・提言、アイデア、経験など
- ・事故防止に係わる知見の蓄積・教育方法
- ・事故の分析
- ・最新技術を利用した危険物施設の事故防止対策
- ・職場等の安全対策
- ・事故防止対策・安全対策に関するその他のもの

#### 2 応募締切

令和7年1月31日（金）必着

#### 3 選考方法

学識経験者、関係行政機関の職員などによる審査委員会において、厳正な審査を行います。

#### 4 賞

消防庁長官賞 賞状及び副賞（20万円） <2編以内>

危険物保安技術協会理事長賞 賞状及び副賞（10万円） <2編以内>

奨励賞 賞状及び副賞（2万円） <若干名>

※ 副賞は危険物保安技術協会からお渡しいたします。

#### 5 応募方法

ア 論文は、日本語で書かれたもので未発表のものに限ります。ただし、限られた団体、組織内などで発表された場合は応募可能とします。（一部に限り、既発表の部分を使用する場合は、その旨を本文中に明記してください。）受賞論文は、危険物保安技術協会のホームページに発表されますので、必要に応じて関係者の事前の了解を取ることをお願いします。また、著作権などの問題を生じないようご注意ください。

イ A4（字数換算：1ページあたり40字×40行程度）1枚以上10枚以内程度としてください。なお、図表および写真は、文中への挿入、本文と別に添付のいずれも可能です。ただし、本文と別に添付する場合に、字数換算をA4（1ページあたり1,600字程度）で行い、全体を10枚相当分以内程度としてください。

ウ 論文の概要を添付してください。

エ 論文は、「論文タイトル」、「氏名（ふりがな）」、「連絡先（住所、電話番号、E-mailアドレス）」および受賞論文発表時に明記する勤務先などがある場合の「勤務先名称及び所属」を記載した用紙を添付のうえ次のあて先（E-mail可）までお送りください。

オ 共同で取り組んでいる活動の場合には、連名の応募も可としますが、代表者が分かるように記載ください。

カ 論文は、返却いたしません。

#### 6 あて先および問い合わせ先

危険物保安技術協会 事故防止調査研修センター

〒105-0001 東京都港区虎ノ門四丁目3番13号 ヒューリック神谷町ビル

Tel 03-3436-2357 (<https://www.khk-syoubou.or.jp/>)

協賛	全国消防長会、一般社団法人日本化学工業協会、石油化学工業協会、石油連盟 電気事業連合会、一般社団法人日本鉄鋼連盟、一般社団法人日本損害保険協会 公益社団法人日本火災学会、全国石油商業組合連合会（順不同）
----	---

## ◆ 消防・救急緊急自動車運転技能者課程のご紹介

### 自動車安全運転センター安全運転中央研修所

茨城県ひたちなか市にある安全運転中央研修所では、消防・救急自動車運転従事者を対象に、スラローム、スキッドコントロール、狭路走行、バック走行のほか、緊急走行時に必要な知識と技能についての研修を実施しています。

研修日数は、4日間（3泊4日）（実技研修17時限、理論研修5時限、その他3時限）、研修料金は、94,300円（令和7年度：宿泊費込み（食費除き））です。

令和5年度は、計15回開催し、139消防本部から423人の消防職員の皆さまに参加いただきました（平成3年の研修所開所以降の本課程修了者は、累計約1万人です）。

令和6年度も定員の枠に余裕があります。また、新たに令和7年度に職員の参加を希望される消防本部におかれましては、安全運転中央研修所教務課（電話）029-265-9560または自動車安全運転センターの各都道府県方面の事務所へ奮ってお問い合わせください。

研修の詳細（動画あり）・研修参加者の感想・問い合わせ先などの詳細については、以下のページをご覧ください。

<https://www.jsdc.or.jp/school/tabid/149/Default.aspx>

安全運転中央研修所全景



安全運転をつくろう。

自動車安全運転センター

<https://www.jsdc.or.jp/>

自動車安全運転センターは、「自動車安全運転センター法」（昭和50.7.10法律第57号）に基づいて設立され、安全運転研修の実施、累積点数の通知、運転経歴の証明（※）、交通事故の証明、安全運転の調査研究などの事業をおこなっています。

安全運転中央研修所は茨城県ひたちなか市に所在し、1周5kmの高速周回路をはじめとする、東京ドーム20個分の広大な敷地に「運転上の危険」を安全に体験できる多種多様な施設を持つ日本随一の総合的な安全運転研修施設です。

※ 職場の安全運転管理にご活用いただけます！

運転記録証明書（過去5年間・3年間・1年間の交通事故・違反などの内容を証明）を一括申請した企業・事業所等には、証明書の内容を全体的に分析した資料を提供しています。分析に基づいた組織的な安全運転管理のほか、職場の交通安全の風土づくりにも役立てていただいております。

詳細については、以下のページをご覧ください。

<https://www.jsdc.or.jp/certificate/tabid/111/Default.aspx>

※ お知らせ

消防本部所在地に変更がありましたので、ご連絡いたします。

○ 31307 富岡甘楽広域消防本部

- 1 所在地  
群馬県富岡市田島26番地
- 2 移転日  
令和6年9月24日(火)
- 3 その他  
組織体制および連絡先に変更はございません。

【担当】

富岡甘楽広域消防本部

総務課 清水・松井

TEL 0274-62-4325

FAX 0274-64-5665

[fdtomika@gamma.ocn.ne.jp](mailto:fdtomika@gamma.ocn.ne.jp)

## 機関誌「ほのお」記事募集

一般財団法人全国消防協会では、機関誌「ほのお」に関して、各消防本部より次の投稿記事を募集しています。

①トップ・セカンド記事

②知識・技術の伝承—教えて！消防技術—

③女性職員の活躍推進

※①・②・③の執筆要領等の詳細は、週間情報(No.0617)1ページ、機関誌「ほのお」2024年4号(4/25発刊)29ページを参照願います。

TEL: 03-4500-6622 機関誌「ほのお」担当: 企画課 児嶋

原稿データは、[kikakeikaku@fcj.gr.jp](mailto:kikakeikaku@fcj.gr.jp)に送信願います。

④消防ワイド

【特徴】

- ・写真中心のビジュアルな広報
- ・紙媒体により記録性に優れる広報

【留意事項】

- ・文章は、Wordで100文字程度で作成をお願いします。
- ・写真は、Wordに貼り付けず、JPEG画像データを1枚送付してください。
- ・消防ワイド、週間情報の両方に投稿された場合、どちらか一方のみの掲載となります。

TEL: 03-4500-6622 機関誌「ほのお」(消防ワイド)担当: 企画課 岡崎

原稿データは、[honoo@ffaj-shobo.or.jp](mailto:honoo@ffaj-shobo.or.jp)に送信願います。

ご投稿をお待ちしております。

※添付ファイルの容量が5MBを超える場合は、分割して送信願います。

## 週間情報への投稿は企画課へ！

週間情報では、各消防本部の身近な情報を掲載していますので情報をお寄せください。

### 【特徴】

- ・原則毎週刊行される、速報性のある広報
- ・文章中心の情報量が多い広報

### 【留意事項】

- ・配信日（原則火曜日）から前2週間以内のイベント、訓練等を中心に掲載しています。
- ・文章は、Wordで200～400文字程度で作成をお願いします。
- ・写真は、1～2枚をWordに貼り付けて送付してください。  
（貼り付けできない場合は、JPEG画像データを送付してください。）
- ・週間情報、消防ワイドの両方に投稿された場合、どちらか一方のみの掲載となります。
- ・掲載が決定した場合のみ、担当者からメールを返信させていただきます。

TEL：03-4500-6622「週間情報」担当：企画課 須藤

原稿データは、[weekly@fcaj.gr.jp](mailto:weekly@fcaj.gr.jp)に送信願います。